

平成30年度四街道市水道事業決算について

・経営状況

平成30年度の収益的収支については、収益総額が平成29年度に比較して 1,904 万 9,029 円 (1.1%)の減で 17 億 5,256 万 641 円となりました。これに対する費用は、費用総額で平成29年度に比較して 41 万 9,485 円 (0.1%)の減で 14 億 7,636 万 3,426 円となりました。

収支内訳は、営業収益 12 億 8,942 万 9,166 円に対し営業費用は 14 億 5,109 万 5,176 円で、差し引き 1 億 6,166 万 6,010 円の営業損失となり、営業外収支の 4 億 6,143 万 560 円の利益を加え、特別損失 2,356 万 7,335 円を差し引いた平成30年度の純利益は 2 億 7,619 万 7,215 円となり、平成29年度に比較して 1,862 万 9,544 円 (6.3%)の減益になりました。

・建設関係

平成30年度の建設改良事業については、配水管では大日地先、みそら地先及び旭ヶ丘地先ほかで約 2,100 メートル、また、基幹管路である6・21号井、8号井及び9号井の導水管では約 600 メートルの老朽管の更新工事を行い、耐震性の強化を図りました。

浄水場施設では、第2浄水場のろ過設備の改修工事、第3浄水場の電気計装設備の更新工事を行い、施設の機能維持を図りました。